

講義コード	1204	科目区分	
(フリガナ)	タイイクゲンリ	(フリガナ)	フナバ ダイシ
授業科目名	体育原理	担当教員名	船場 大資
英文授業科目名	Philosophy of Physical Education and Sports		
基準年次(開講期)	1年生(前期)	履修形態	教員免許必修
曜日/時限/講義室	水曜日/5限目/312教室		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	
単位	2	週時間	2
授業のキーワード			
授業概要・目的	文化現象としての体育・スポーツにおける問題を哲学的方法を用いて省察する。体育・スポーツの概念、スポーツとコミュニケーション、身体文化の3元論、遊戯論とスポーツ、ナショナリズム、政治とスポーツの問題に焦点をあて、身体論から投影されるパースペクティヴを紹介する。個人、集団をとりまく体育・スポーツ現象に対する学問的アプローチの方法を学習する。体育を哲学する思考トレーニングとして、毎時「コミュニケーションカード」の記入を行う。		
到達度評価の 評価項目	1.体育とスポーツの概念、2.前近代と近代体育・スポーツの概念の定義、3.身体とコミュニケーション4.スポーツの文明化論、5.身体文化論のパースペクティヴ、6.遊戯論、7.オリimpiズム、7.アマチュアリズム、8.スポーツの政治的中立性に関する理論を学習し、理解を深め、思考力を養う。また、専門用語を用いて、自分なりの考えを表明できるようにする。		
授業計画			
第1回	理論としての体育・スポーツ:今日の体育学・スポーツ科学体系		
第2回	体育・スポーツの概念史		
第3回	近代体育・スポーツの定義:アレン・グットマンによる7つの定義		
第4回	身体とコミュニケーション(1):コミュニケーション不全症候群		
第5回	身体とコミュニケーション(2):スポーツは期待に応えられるか。		
第6回	近代スポーツのオールタナティヴ		
第7回	身体文化論のパースペクティヴ(1):三元論の特徴		
第8回	身体文化論のパースペクティヴ(2):三元論をとりまくコミュニティ		
第9回	身体文化論のパースペクティヴ(3):まとめ		
第10回	遊戯論(1):ホイジンガ『ホモ・ルーデンス』		
第11回	遊戯論(2):カイヨワの遊戯論他		
第12回	遊戯論(3):H・レールスの『スポーツと遊戯』		
第13回	スポーツと思想(1):オリimpiズム、ナショナリズム		
第14回	スポーツと思想(2):アマチュアリズム、スポーツの政治的中立性		
第15回	スポーツの文明化を巡る考察		
教科書・参考書等	本授業用に開発した独自のテキストを配布する。 参考書:アレン・グットマン(清水哲男訳)『スポーツと現代アメリカ』TBSブリタニカ、1981年。/J・ホイジンガ(高橋英夫訳)『ホモ・ルーデンス』中央公論社、1983年。/H・レールス(長谷川守男監訳)『遊戯とスポーツ』玉川大学出版部、1987年。/多木浩二著『スポーツを考える:身体・資本・ナショナリズム』ちくま新書、1995年。		
授業で使用する 機器等			
予習・復習への アドバイス	各回とも講義内容を確認しておくこと。また授業で重要であると説明した部分は、レポートを課す場合がある。		
履修上の注意・ 受講条件等			
成績評価の基準等	出席状況、ペーパー試験とコミュニケーションカードにより総合的に判断する。		
メッセージ	「思考のプロセス」が重要です。日頃から体育・スポーツ事象について思いをめぐらし、疑問に思うことがないか考えてみましょう。		
オフィス・アワー			
その他			